

【出題意図】

本文は、インターネットを介した多人数とのつながりに対して、ダンバー数という考え方を根拠として疑問を呈している。受験生にはインターネット社会の課題に対して関心を持ち、かつその解決に意欲をもっているか（関心・意欲）、インターネットで知り合った相手と本当に「友人」あるいは「仲間」であり得るのかについて根拠に基づいて筋道を立てて考え、判断し、そしてその考えを自分の言葉で説得的に表現できるのか（思考力・判断力・表現力）を問うている。

【採点のポイント】

主に次の点について評価する。

- ・筆者の主張を理解しそれを踏まえた上で解答しているか。
- ・設問にある「つながりは変化する、あるいはしない」の主張は明確か。（条件付きの主張の場合、その条件も明確でわかりやすいか。）
- ・その考えに至った理由が論理的・説得的に述べられているか。